Rotary　イマジン ロータリー

Weekly Bulletin Vol.67 No.39　2022–2023　RI会長 ジェニファーE.ジョーンズ　泉大津ロータリークラブ（創立1956.5.4）

週報　第3203回

泉大津ロータリークラブ
Izumiotsu Rotary Club

会　長　南出　和成　**副会長**　杉本　憲一・籔野　信
幹　事　松村　泰英　**ＳＡＡ**　櫻井　善章

例会場　ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
ＴＥＬ　0725-20-1121
例会日時　毎週金曜日 12:30〜13:30

事務局　〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所３Ｆ
TEL.0725-21-9500　FAX.0725-21-9501
メールアドレス　info@izumiotsu-rc.org
ホームページ　http://izumiotsu-rc.org

今週の例会（2023年5月14日）

■ プログラム

家族例会

■ 次週のプログラム

5月19日：卓話担当　泉谷　仁博　会員

■ 今後の予定

・5月26日：卓話担当　前山　佳司　会員
卓話講師　泉大津税務署長
増田　歌織　様

■ 祝　誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

我等の生業

今月の歌

茶つみ

夏も近づく　八十八夜
野にも山にも　若葉が茂る
あれに見えるは　茶つみじゃないか
あかねだすきに　すげの笠

■ 先週の例会

会長の時間

南出 和成　会長

○連休について
○5月8日より新型コロナウイルス5類移行に付き例会場アクリル板撤去について
○5月14日春の家族例会について
○今月は青少年月間です。青少年の育成のためにもリーダーシップトレーニングは必要です。ロータリーに於きましても、中核となる価値観の一つにリーダーシップがあります。

ロータリーではリーダーシップという言葉を良く使います。いくつかの使用例を並べてみます。

◎地区リーダーシップ・プラン
District Leadership Plan：DLP
◎クラブ・リーダーシッププラン
Club Leadership Plan：CLP
◎地区指導者教育セミナー
District Leadership Seminar

◎ローターアクト指導者教育研修
Rotaract Leadership Training
◎クラブ指導力育成セミナー
Club Leadership Development Training
◎ロータリー・リーダーシップ研究会
Rotary Leadership Institute：RLI

なぜ、ロータリーではリーダーシップと言う言葉を多用するのでしょうか。ロータリーは事業と専門職務および地域社会のリーダーの集まりです。ロータリークラブはリーダーシップの修練の場ともいえます。「例会は道場の修練の場である」と喝破したのは、日本ロータリーを創始者米山梅吉氏です。
ロータリークラブは、企業のように権限を持ったトップが指示・命令する組織ではありません。会員の平等・対等な関係が前提となります。クラブの組織力を高めるには、会員全員の合意形成がリーダーシップ（指導力）を高める必要があるからです。誰か特定の限られた人をリーダーとして育成するというのではなく、会員全員がリーダーシップ（指導力）を身に着けなければならない。だから、ロータリーでは、「リーダーシップ」という言葉が重要なキーワードとなっているのです。

以上

幹事報告

松村 泰英　幹事

○本日例会終了後、第11回理事役員会を開催しますので、役員の方はご出席お願い致します。
○各テーブルにガバナー月信と浜街道まつりのお知らせを置いておりますので、ご拝読の方よろしくお願い致します。
○5月16日（火）は事務局はお休みさせていただきますのでよろしくお願い致します。

委員会報告

○ロータリーの友5月号の読みどころの紹介。
（細川　嘉則　クラブ会報・IT委員長）
○メールボックスに、次回8月のゴルフコンペのご案内を入れさせていただいております。ぜひご参加よろしくお願い致します。
（道正田　均　ゴルフ同好会幹事）
○明後日、5月14日（日）は家族例会があります。
まず、11時30分にホテルW大阪のレストランにお集まりいただくことになっておりますが、入れるのが12時ちょっと前かもしれません。お食事の後のスケジュールは、各自でなんばグランド花月の方に移動していただきまして、観劇を楽しんでいただきます。現地解散です。チケットはレストランの方で受付の時にお渡ししたいと思いますのでよろしくお願い致します。
（根尾　玲子　親睦活動委員長）
①6月4日（日）の午前8時から、例年通りの社会奉仕事業としての港湾清掃がございますので、ご参加いただける方は、名簿をおいておりますので、ご記入いただきご参加よろしくお願い致します。
②来週例会終了後、社会奉仕委員会を開きますので、委員、関係者の方はご参加よろしくお願い致します。
（川端　徹　社会奉仕委員長）

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数42名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
5/12	34名	8名	—	80.95%
4/21	32名	10名	5名	88.10%

■ メークアップ

榎本（4/13 ワールド大阪ロータリーEクラブ）
原（眞）、松内（4/28 親睦活動委員会）
西田、渡辺（4/16 地区研修・協議会）

■ ニコニコ箱

- 本日欠席して申し訳ありません。先だっては私の母のお通夜式、告別式に参列下さり誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます（今井）
- 岡本さん、本日はようこそおこしいただきました。ロータリーでお待ちしております。上田エレクト、本日はクラブフォーラムよろしくお願いいたします（南出）
- 上田エレクト様、本日卓話宜しくお願いします。岡本様、本日お越し頂きありがとうございます（松村）
- 上田エレクト、本日はよろしくお願いいたします。岡本さん、本日はおこしいただきありがとうございます（櫻井）
- 欠席のお詫び（丹農）
- 早退のお詫び（原（眞））

ニコニコ箱合計	32,000円
累計	930,500円

先週のプログラム　PETSと地区研修・協議会に寄せて（DEIとCLPに思う）

上田　秀朗　会長エレクト

本日は、3月19日の会長エレクト研修セミナー（PETS）に関わるDEIについてと4月16日の地区・研修会に関わるCLPについて私の思うところをお話させていただきます。最初にDEI、次にCLPの順に進めていきます。

PETS（会長エレクト研修セミナー）の中で「クラブ会長が知っておくべきRIの変化とDEI」という基調講演がありました。講師は2660地区の2022-2023年度ガバナー、宮里唯子（ゆいこ）氏、鉄の女サッチャーを自認するだけあり、見るからにおっかなそうな女性でした。その講演の中で「ぜひともみなさまに伝えておきたいロータリー情報があります。それはDEIです」と切り出されました。私はその時「ほう、やっぱりそれか」と思いました。DEIについては、去年12月2日に、次年度理事予定者の皆さんには簡単な解説文はお渡ししています。その方々には最初のほうはおさらいになるかと思いますがお聞きください。

2019年にRIは新しいロータリーの行動指針としてDEIを採択しました。「DEI（ディー・イー・アイ）」とは、「Diversity（ダイバーシティー、多様性）」「Equity（エクイティ、公平性）」「Inclusion（インクルージョン、包括性）」の頭文字からなる略称です。

DEIはロータリーのみならず、パナソニックなどの世界的企業グループでも企業理念として採用されています。今やDEIは、新しい企業価値を生み出す取り組みともなっています。つまり今回のRIの取り組みは、ロータリアンが率先してDEIを実践していこうということなのです。まずはDEIを標語的に解説していきます。

Diversity（多様性）　クラブは、様々な背景を持つ人や、幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。
Equity（公平性）　クラブは、クラブ会員の公平な扱いと機会均等を保つよう努めます。
Inclusion（包括性）　クラブは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいきます。

ここまでは教科書通りの解説です。
さらに私なりの解釈と説明を付け加えさせていただきます。

まずダイバーシティー、多様性についてですが、確かに最近この言葉をよく耳にするようになりました。いろいろな職種の我々の仲間のロータリアンがもっともっと増えていったらいいなと私も切望しております。私の年度ではこれまでより対象範囲を広げ会員増強していきたいと思います。もちろん女性会員も増えていただきたいです。目標は年度終了時45名です。そのためにも2002年11月22年に制定された泉大津ロータリークラブ庶務規定の第1章新入会員の推薦の条項の全文を廃止したいと思います。ここでは詳細は触れませんが、完全無欠なロータリアン像を前提にしており、果たして現会員にその基準に達している方は何人おられるか、ひょっとするといないのではないかとさえ思えるのです。私に言わせれば、ロータリーは紳士的な方はより紳士的に、そうでない方もそれなりになっていただく、人生の学校のようなところです。ですから最初から出来上がった方だけではなく、大化けする伸びシロのある方にも是非とも入会していただきたいのです。そのためにはこの条項は手かせ、足かせにしかなりません。もっと言えばこの条項は、入会を促すためのものではなく、入会をお断りするためのものです。へたすれば特定の入会希望者の入会を阻止する根拠に使われる可能性さえあります。誤解のないように言っておきますが、入会審査はこれまで通り、いやこれまでにまして、定款・細則に従って慎重かつ厳正にさせていただきます。まずは現在のロータリーの理念に反する庶務規定は廃止するべきなのです。これはまだ会長エレクトである私の意向にすぎませんが、理事会の審議を経て決定したいと思います。

次にエクイティ、公平性ですが、これは我々日本人には一番理解されにくい言葉です。それは日本の社会にこの言葉が十分根づいていないからに他なりません。
平等やフェア（公正）という意味に近い公平でもありません。お前はゴルフが下手なくせに話をよくゴルフに例えるといわれますが、ゴルフのハンディ制度に例えると理解しやすいと思います。上級者とそうでない方が同じコンペに参加すれば、そうでない方、私もこのそうでない方に入るんですが、そのそうでない方から、「上手な奴が勝つにきまってるやろ！そんなコンペ面白くない！」、そういう不満が出るのです。そういうときのためにゴルフにはハンディという制度があります。ハンディ10の方が82でラウンドすると、82－10＝72でパープレイです。またハンディ20の方が92でラウンドすると、92－20＝72で同じくパープレイです。またハンディ10の方が80でラウンドすると、2アンダー、同じくハンディ20に方が90でラウンドすると、これまた2アンダーということになり、両者とも優勝する可能性が出てきます。もっと極端な例を出せば、ダブルペリア方式のコンペをハンディ青天井で開催すれば、だれもが予想さえしなかった方が優勝するという珍事が発生します。道正田さん、うちのクラブコンペでこんなことありましたっけ？ハンディ制度のおかげで上手、下手にかかわらず、だれにも優勝の機会が均等に与えられます。ただしハンディ制度はアマチュアに限ってのことで、プロはハンディ0以下ですからハンディ制度はありません。うちのクラブのゴルフコンペに参加いただいてる方々はエクイティ、公平性をもうすでに実践していただいているということになります。ただRIの提案は、これをクラブ運営においてもやりなさいということです。皆さんにご相談をし、ご協力をお願いいたします。

最後にインクルージョン、包括性ということですが、私はDEI自体が、多分にロータリーの5つの中核的価値観、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップをベースに展開していると思っています。ですから、ことインクルージョン、包括性については、従来から行ってきました、そして皆さん大好きな親睦活動が重要な役割を果たすと思います。家族例会を含めた例会、好評を博した日本酒同好会、酒蔵見学を兼ねた歩こう会、そしてもちろんゴルフ同好会、これまで以上に親睦活動に注力していきたいと思います。何か私の関知しないところで、次年度はゴルフ同好会は年3回開催とのうわさが飛びまわっているようです。これらは広い意味でロータリーの学びの場であるはずです。我々は、古代ギリシアのアリストテレスが散歩をしながら哲学を語ったように、文字どおり歩きながら、酒を酌み交わしながら、ゴルフをしながら、ロータリーを語ることとしましょう。
特に例会はロータリーの基本中の基本ですので、内容の充実に努め、ロータリーが人を作り、世の役に立つという原点を大切にしたいと思います。

まずはDEIという旗を掲げ、それに向かって進んでいきたいと思います。

続いては地区研修・協議会に関わるCLPについてのお話です。CLPとはClub Leadership Planの略です。この中でなんとなくでも知っている方？手を挙げてみてください。どうぞ遠慮なく。質問をする気はありませんので。安心してください。いませんか。地区研修・協議会に参加した方は気づいたかもしれませんが、地区の組織図、そして当日の分科会においても、社会奉仕という大枠の中に、従来の社会奉仕も青少年奉仕も職業奉仕さえも含まれてしまっていました。従来の社会奉仕は確か地域社会奉仕という名称になっていたでしょうか？それは何故かといいますと、地区の組織自体がDLP（地区リーダーシッププラン）に基づいて組織されているからにほかなりません。DLPというのはCLPの地区版です。

当クラブにおいては、私は2012年10月入会ですから12年目になりますが、DLP,CLPの説明は、摩訶不思議なことに歴代会長の口からは一度も聞いたことはありません。食わず嫌いなのか、勉強嫌いなのか、知る由もありません。ですから本日、私がこの場で、DLPとCLPについてお話しするのが初めてであるかもしれません。地区のDLPにあわせて当クラブもCLPに基づいて組織する方が、地区の支援も受けやすく便利であるはずです。DLPとCLPはセットなのでまずはDLPから説明させていただきます。20世紀の社会経済活動の拡大とともにロータリーも発展を続け、1990年代に入ると世界の会員数は120万人を超えました。肥大化する組織をより効果的、効率的に運用する新たな仕組みの必要性を痛感したRIは、DLP（地区リーダーシッププラン）と呼ばれる新たな地区運営プログラムを提案し、1997年より導入を開始しました。DLPは地区運営効率化のため組織をスリム化し、合わせてクラブへの支援をより迅速に密度濃く行うためのガバナー補佐の設置を骨子とするものでした。DLP導入に続き、2004年、RIはクラブの活力向上を図るためCLP（クラブリーダーシッププラン）と呼ばれる新たなクラブ活性化プログラムを提案しました。CLPは5つの常任委員会（クラブ運営管理、クラブ広報、会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団）を基礎組織とするもので、一言で言ってしまえば、選択と集中です。当初肥大化しつつあるロータリー組織に効率的運営が目的で導入されたDLPとCLPですが、現実には21世紀に入り日米同時に顕著になった会員減少とクラブの小型化に対応するものとなってしまいました。

次年度の組織はCLP（クラブリーダーシッププラン）に基づいています。ですから基本構造は地区と符合するものとなっています。まだ組織図を皆さんに公開する時期でないのが残念です。ただ無用の混乱を避けるために、伝統的な5大奉仕の上にCLPを乗せた形になっています。財団・米山記念委員会はありますが国際奉仕委員会はありません。これも期せずして地区と符合しています。5大奉仕はケーススタディとしての例示であり、尊重はすべきですが、固執する必要はないのです。
今や職業奉仕委員会のないクラブは普通に存在します。ではそのクラブは職業奉仕を軽視しているのか？そんなことはありません。そういうクラブには大概会長経験者のクラブ研修リーダーがいて、キチンと職業奉仕の勉強会を開催しています。職業奉仕の委員長を経験された方ならお分かりでしょうが、職業奉仕ってなかなか難解で、本当はクラブ研修リーダーを務めるようなベテランにしか解説できないのが実情です。昨年度の地区の職業奉仕の勉強会のレジメを見せていただきましたが、もう一歩詰め切れていませんでした。どこが詰め切れてないかというと、職業奉仕には親睦やクラブ奉仕と社会奉仕や青少年奉仕などの他の奉仕を結びつける役目があるのです。そもそも5大奉仕はもともと横並び、並列ではないのです。ロータリーは多様性と寛容を重んじる組織ですから、5大奉仕にがんじがらめに縛られた組織論をいつまでも踏襲する必要はないはずです。各年度の会長は自らの裁量で自らのガバナンスしやすい組織を編成すればよいのです。

CLPが発表されてからもはや20年がたとうとしているのですから、他のクラブのホームページをのぞいてみれば、どのように取り組んでいるかおおよそ想像がつくはずです。お断りしておきますが、CLPは目的ではありません。クラブを活性化するための手段です。次は引用文です。

「（これまで）クラブで行われてきた従来のやり方を、惰性としてそのまま繰り返すことに満足せず、また現状維持に甘んずることなく、生じた問題に対し誰かが解決してくれるだろうなどと責任逃れをせず、解決しようと自ら先頭を切るのが私たち（ロータリアン）です。」（2004年RI理事会）

私はチャレンジをしてみようと思います。

最後のまとめです。まとめは少々辛口となってしまうことをお許しください。

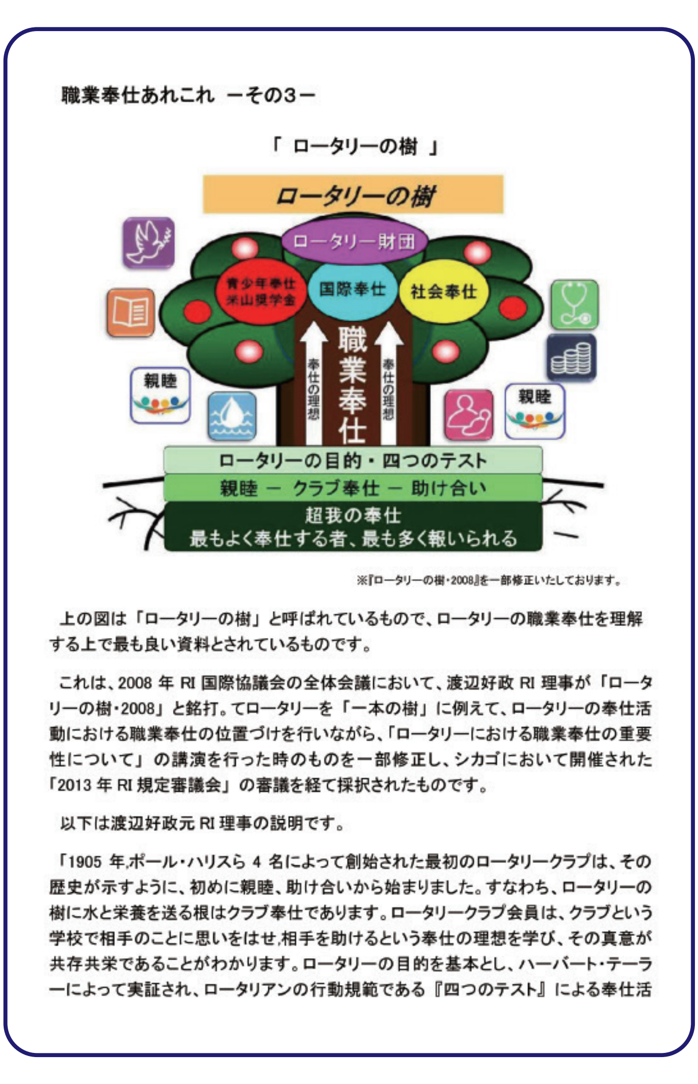
DEIは2019年のRI決議で、今回の2022年手続要覧に初めて掲載されるようになりました。しかしCLPは2004年のRI決議です。この空白の20年はいったい何でしょうか？ 2015〜2016年度、私が幹事を務めた際にすでに地区とクラブの間の組織上の不整合は存在していましたし、それ以後もあったはずです。

次にご紹介するのは最近の事例です。
私は、泉大津ロータリークラブ細則に、「決議23－34」、すなわち「社会奉仕に関する1923年の声明」がつけられているのは「クラブ自治権」のためと入会以来先輩からずっと聞かされてきました。ところが2016年手続要覧では「クラブには社会奉仕を自主的に選ぶ権利があり、RIはそれを命じたり禁じたりしてはならない」と明記してありましたが、2019年手続要覧からは「命じたりしてはならない」が削除されていました。
これは逆に言えば、RIが特定の社会奉仕をクラブに「命じてもよい」ことになります。当時、全国のクラブでは様々な議論が巻き起こりました。ロータリーの友2020年10月号にもこれを憂うる記事が投稿されました。ところが当クラブにおいては何の議論もなく、全く静かでした。「クラブ自治権」が中島パストガバナー以来の当クラブの重要なテーマであれば議論百出してもよかったはずです。本当は「クラブ自治権」などどうでもいいのかもしれない。そんな疑念すらいだいてしまいます。

ここまでお話しすると「お前はRIの代理人か？」と諸兄のお嘆きが聞こえてきそうです。またうちのクラブには「地区、RI,何するものぞ」という剛の者もいらっしゃるかとは思います。私はそのような方にあえて言いたい。
日本のロータリアンの中にはロータリー歴史年表を作り、100年以上のロータリーの動きをおまとめになっている方がいらっしゃいます。その歴史年表を見ますと、短期的にはRIには過ちもあれば、紆余曲折もあります。しかし長期的にみればロータリーは世の動きにつれ、進化しているとみてとれます。それはやはりRIには世界中のロータリアンの経験と知恵が結集されるからだと

思います。少なくともロータリー全体の方向性だけでもトレースしておく必要があります。常にロータリー情報は更新され続けなければならないのです。それが会長なり、会長経験者の務めであると思います。たとえそれが自身にとって不都合な真実であったとしてもです。
それを怠れば、泉大津ロータリークラブは、やがて絶滅危惧種のロータリアンの住むガラパゴス諸島のようになってしまいかねません。さらに言えば、かつて当クラブは2人のガバナーを三度輩出はしたが、今後こういうことはないということです。
聞きづらい話をよくぞここまでお聞きいただきました。

まだ時間があるようなので、本日の付録を紹介したいと思います。えーと、これです。「ロータリーの樹」という二枚つづりです。私はこれを見つけた時、あまりの明晰性に感動さえしました。いろんなクラブが公開していますが、福山西ロータリークラブのものを使います。以下、本文を読み上げますのでお聞きください。


ロータリーの樹
ロータリー財団
青少年奉仕 米山奨学会
国際奉仕
社会奉仕
職業奉仕
奉仕の理想
奉仕の理想
親睦
親睦
ロータリーの目的・四つのテスト
親睦 ― クラブ奉仕 ― 助け合い
超我の奉仕
最もよく奉仕する者、最も多く報いられる

職業奉仕あれこれ　―その3―

「 ロータリーの樹 」

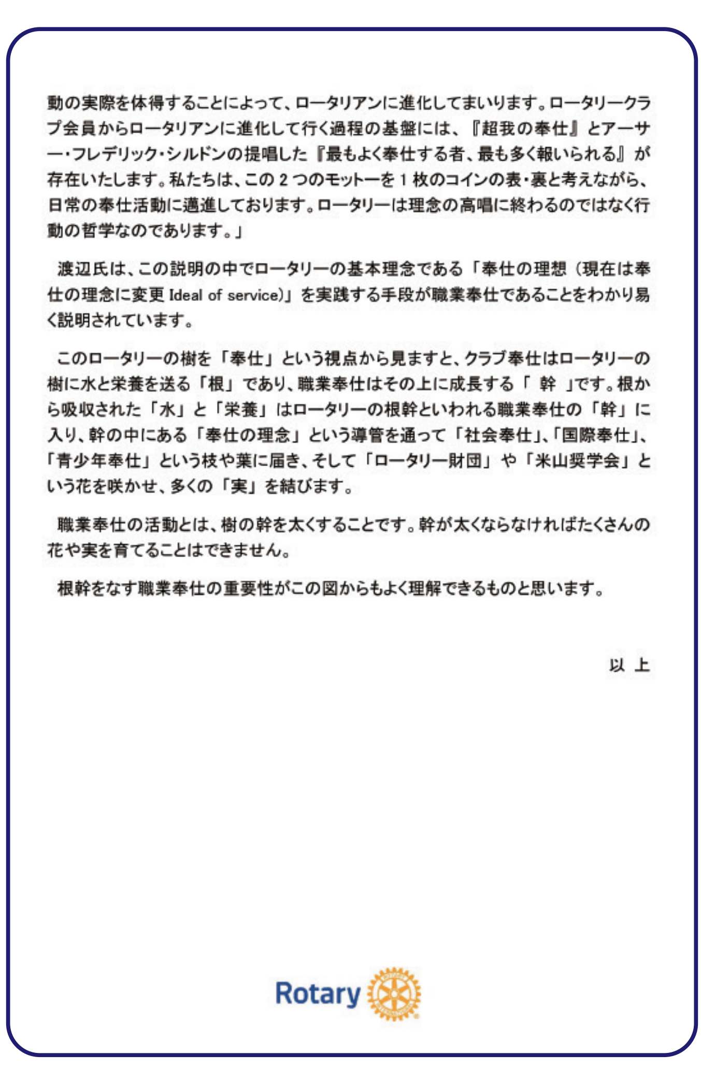
※『ロータリーの樹・2008』を一部修正いたしております。

上の図は「ロータリーの樹」と呼ばれているもので、ロータリーの職業奉仕を理解する上で最も良い資料とされているものです。

これは、2008 年 RI 国際協議会の全体会議において、渡辺好政 RI 理事が「ロータリーの樹・2008」と銘打。てロータリーを「一本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いながら、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された「2013 年 RI 規定審議会」の審議を経て採択されたものです。

以下は渡辺好政元 RI 理事の説明です。

「1905 年,ポール・ハリスら 4 名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る根はクラブ奉仕であります。ロータリークラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いをはせ,相手を助けるという奉仕の理想を学び、その真意が共存共栄であることがわかります。ロータリーの目的を基本とし、ハーバート・テーラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である『四つのテスト』による奉仕活



動の実際を体得することによって、ロータリアンに進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化して行く過程の基盤には、『超我の奉仕』とアーサー・フレデリック・シルドンの提唱した『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』が存在いたします。私たちは、この 2 つのモットーを 1 枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは理念の高唱に終わるのではなく行動の哲学なのであります。」

渡辺氏は、この説明の中でロータリーの基本理念である「奉仕の理想（現在は奉仕の理念に変更 Ideal of service)」を実践する手段が職業奉仕であることをわかり易く説明されています。

このロータリーの樹を「奉仕」という視点から見ますと、クラブ奉仕はロータリーの樹に水と栄養を送る「根」であり、職業奉仕はその上に成長する「 幹 」です。根から吸収された「水」と「栄養」はロータリーの根幹といわれる職業奉仕の「幹」に入り、幹の中にある「奉仕の理念」という導管を通って「社会奉仕」、「国際奉仕」、「青少年奉仕」という枝や葉に届き、そして「ロータリー財団」や「米山奨学会」という花を咲かせ、多くの「実」を結びます。

職業奉仕の活動とは、樹の幹を太くすることです。幹が太くならなければたくさんの花や実を育てることはできません。

根幹をなす職業奉仕の重要性がこの図からもよく理解できるものと思います。

以 上

Rotary

読み終わったところで今日の私の話は終わりです。